

第93回 防災カフェを開催しました。

災害発生時における感染対策

～避難所の感染対策の重要性と向上策～

日時：2024年11月13日（水）18時30分～20時

ゲスト： 薬務課 横山 哲也 さん

健康危機管理課 淡野 睦 さん

ファシリテーター： 健康危機管理課 西川 真介 さん



災害時の避難所では、感染拡大防止策を徹底することが極めて重要です。平時から備えるべき感染対策物資の備蓄や基本的な予防策について、ゲストに令和6年能登半島地震の被災地で活動した薬剤師や看護師を迎え、それぞれのタイミングで直面した課題なども交え、経験を基にした実践的なお話をさせていただきました。

所感

1 断水

手が洗えない(ウェットティッシュで拭く)
トイレの水が流せない(用水路の水を汲んで流す)
お風呂に入れない(ウェットタオルで体を拭く)
食器が洗えない(ワンウェイ容器、ラップの使用)

2 道路の寸断

アクセスできない(渋滞)
パンクや脱輪のリスク(二次災害)

3 受援体制の確立

組織を規定するだけでなく、機能することの検証も必要(訓練)
多くの支援者がこられるのでこれをマネジメントする必要がある。

4 職員や拠点の被災

職員が出動できないことを想定しておく必要がある。
想定している拠点が使用できない場合がある。

避難者用玄関で工夫した点



- 【清掃】
→ 避難者自身で（区長会で決定）
- 【動線】
→ 避難者用玄関は1箇所のみ
- 【感染対策】
→ 入る際は必ず手指消毒

感染者プライバシーの配慮

地域が密な故、コミュニティが狭く話が広がりやすい

- まず、コミュニティの特性を本人や家族から聞き取り
- 場所移動や配膳の際は、周囲に分からないよう配慮
- 個人名は陽性者の家族、区長、濃厚接触者にのみ伝える
- 【隔離部屋】ではなく【保護部屋】

緊急時こそ気配りや配慮が大事

横山さん、淡野さん、西川さん、参加者のみなさん ありがとうございます。

第93回『防災カフェ』の概要は、後日お知らせします。